Panasonic®

（CF-S10シリーズのイラストです。）

取扱説明書 Windows® 7 入門ガイド

パーソナルコンピューター

品番 CF-B10/CF-S10/CF-N10/CF-J10シリーズ

（Windows 7）

本書は、Windows 7を初めてお使いになる方のために、基本的な操作を説明したものです。
必要に応じて、Windows VistaやWindows XPとの比較も説明しています。

は画面で見るマニュアルのマークです。
この説明書は、CF-B10シリーズ、CF-S10シリーズ、CF-N10シリーズ、CF-J10シリーズ共用です。
CF-S10シリーズのWindows 7 Professionalの画面を使って説明しています。

● 初期設定やパソコン本体の操作については、次の説明書をご覧ください。
 - 初期設定：『取扱説明書 準備と設定ガイド』
 - パソコン本体の操作：『取扱説明書 基本ガイド』および画面で見る『操作マニュアル』

● Windows 7の詳しい説明については、Windowsの「ヘルプとサポート」もご覧ください。（➡10ページ）

●「Windows® 7 Professional 32ビット 正規版（Service Pack 1適用済み）（日本語版）」、「Windows® 7 Professional 64ビット 正規版（Service Pack 1適用済み）（日本語版）」、「Windows® 7 Home Premium 32ビット 正規版（Service Pack 1適用済み）（日本語版）」、「Windows® 7 Home Premium 64 ビット 正規版（Service Pack 1適用済み）（日本語版）」を「Windows 7」、「Windows Vista® Business Service Pack 2 正規版」を「Windows Vista」、「Microsoft® Windows® XP Professional 正規版 Service Pack 3」を「Windows XP」と表記します。

はじめに

Windows 7とは

Windows 7とは、Windows Vistaを発展させたOS（オペレーティングシステム）です。
Windows Vistaに比べ、操作性やセキュリティが向上し、さらに使いやすくなっています。

使いやすさ

- 「ジャンプリスト」が追加され、[スタート]メニューやタスクバーから作業が開始できます。
- [スタート]メニューにシャットダウンボタンが表示され、ボタンひとつでWindowsを終了できます。

ジャンプリスト

シャットダウンボタン

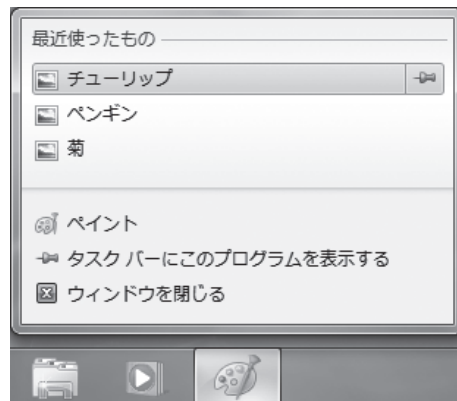
快適さ

- 強化された省電力機能により、バッテリーの駆動時間が向上します。
- パソコンの動作速度の低下を防ぐ機能により、さらに快適な作業を行えます。

セキュリティ

- 「アクションセンター」により、スパイウェアやウイルスなどのすべてのセキュリティ対策が管理できます。

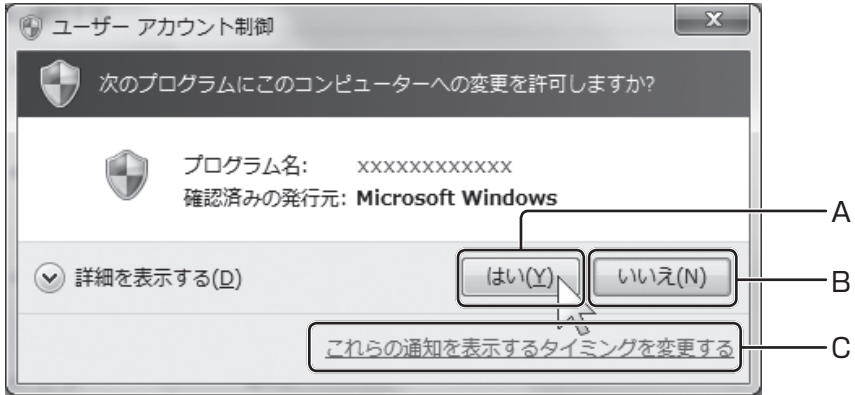
ネットワーク

- 「ホームグループ」により、家庭内のパソコンとの接続設定が簡単に行えます。

本書の説明について

クリック操作について
操作によっては、メニューやボタンの上にポインターを数秒間合わせることでクリックと同じ結果になるものがあります。（例：[スタート]メニューの[すべてのプログラム]をクリックする場合）
本書ではこのような操作も「クリック」と表記します。

「ユーザーアカウント制御」画面について
Windows 7では、操作中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合がありますが、本書ではこの操作を省略しています。（➡3ページ）

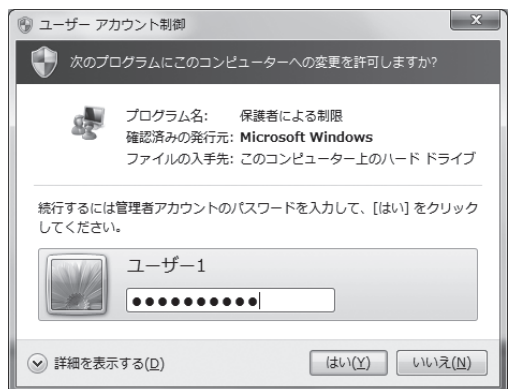
「ユーザーアカウント制御」画面について

アプリケーションをインストールしようとするときや、Windowsの設定を変更しようとするときなど、重要な操作を行うときに「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。
このままインストールを続ける場合や、設定を変更する場合は、[はい]をクリックします。

A [はい]ボタン
アプリケーションのインストールや、Windowsの設定の変更を許可します。

B [いいえ]ボタン
アプリケーションのインストールや、Windowsの設定の変更を許可しません。

C [これらの通知を表示するタイミングを変更する]
「ユーザーアカウント制御」画面を表示するタイミングを変更します。(➡37ページ)

メモ

アカウントが「標準ユーザー」の場合は、右の画面が表示されます。
アプリケーションのインストールや、Windowsの設定の変更を行うには、「管理者」アカウントのパスワードを入力します。

Windows 7の代表的な機能

ここでは、Windows 7の代表的な機能を紹介します。

Windows Aero（エアロ）

Windows Vistaから搭載されているウィンドウデザインです。Windows 7では、Aero PeekやAero Shakeなど、操作をさらに便利にする機能が追加されています。

Aeroグラス

ウィンドウが、すりガラスのように半透明になります。これにより他のウィンドウを確認しやすくなります。

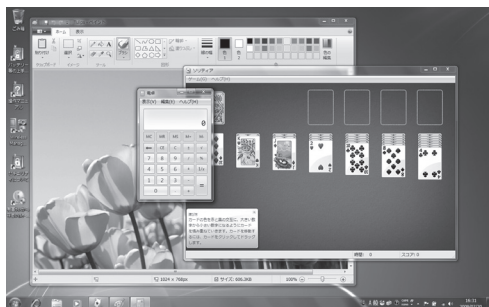
タスクバーのサムネイル

タスクバーのタイトル上にポインターを合わせることで、隠れているウィンドウや最小化によりタスクバーに格納されているウィンドウの内容をサムネイル（画像イメージ）状に表示します。
（ライブサムネイル）

Aero Peek

タスクバーのライブサムネイルにポインターを合わせると、そのウィンドウだけを表示して、他のウィンドウが透明になります。これにより、目的のウィンドウを探しやすくなります。

Aero Snap

ウィンドウを画面の左端または右端にドラッグすると、画面の左半分または右半分にウィンドウのサイズが変更されます。

Windows フリップ 3D

開いている複数のウィンドウを立体に重ねて表示できます。このとき[Windows]＋[Tab]を押すと、開いているウィンドウを順に切り替えることができます。

Windows フリップ

[Alt]＋[Tab]を押すとライブサムネイルがフリップ内に表示されます。これにより目的のウィンドウへ簡単に切り替えることができます。

Aero Shake

ウィンドウをドラッグしたまま左右に動かすと、他のウィンドウがすべて最小化されて、ドラッグしたウィンドウのみが表示されます。もう一度左右に動かすと、元の表示に戻ります。

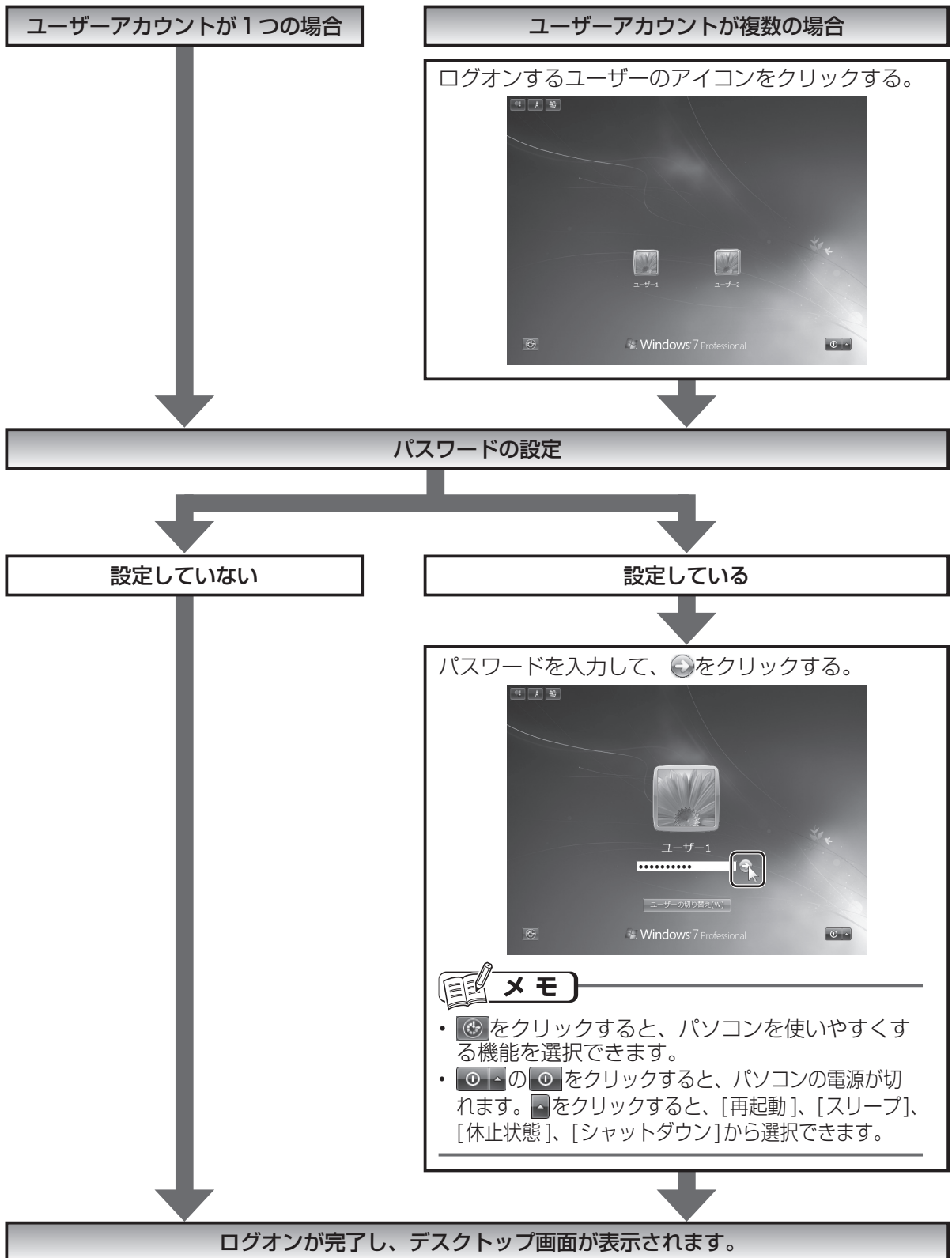
アクションセンター

Windowsが表示するポップアップやメッセージをまとめて管理する機能です。ユーザーにメッセージを表示して、問題を解決するようにうながしたりします。

ホームグループ

家庭内にあるパソコンや、プリンターなどの周辺機器を管理するための機能です。設定などはWindowsが自動的に行いますので、プリンターや他のパソコンのデータなどを簡単に共有することができます。

Windows にログオンする

操作を始めるには、パソコンの電源を入れ、Windows にログオンします。
作成したユーザーアカウントの数やパスワードの設定 / 未設定によってログオン方法が異なります。

Windowsを終了する

シャットダウンする（電源を切る）

Windowsを終了して、パソコンの電源を切ります。
長時間パソコンを使わないときや、メモリーを追加・交換するときなどは、パソコンの電源を切ってください。

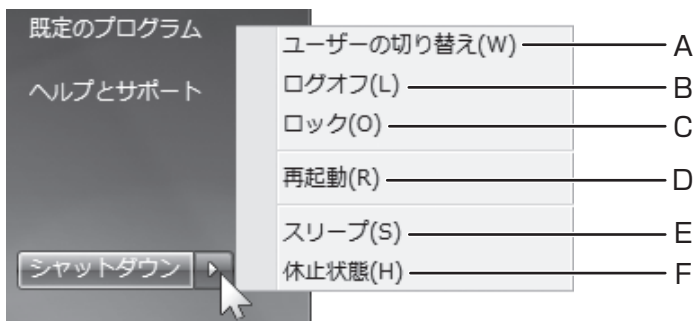
1 （スタート）ボタンをクリックする。

[スタート]メニューが表示されます。

2 シャットダウン をクリックする。

Windowsが終了して、電源が切れます。

その他の終了メニューについて

[スタート]メニューの ▸ をクリックすると、終了メニューが表示されます。

A　ユーザーの切り替え
現在の作業状況を残したまま、ユーザーを切り替えます。

B　ログオフ
プログラムや表示していた画面がすべて終了し、ログオン画面が表示されます。電源は切れません。

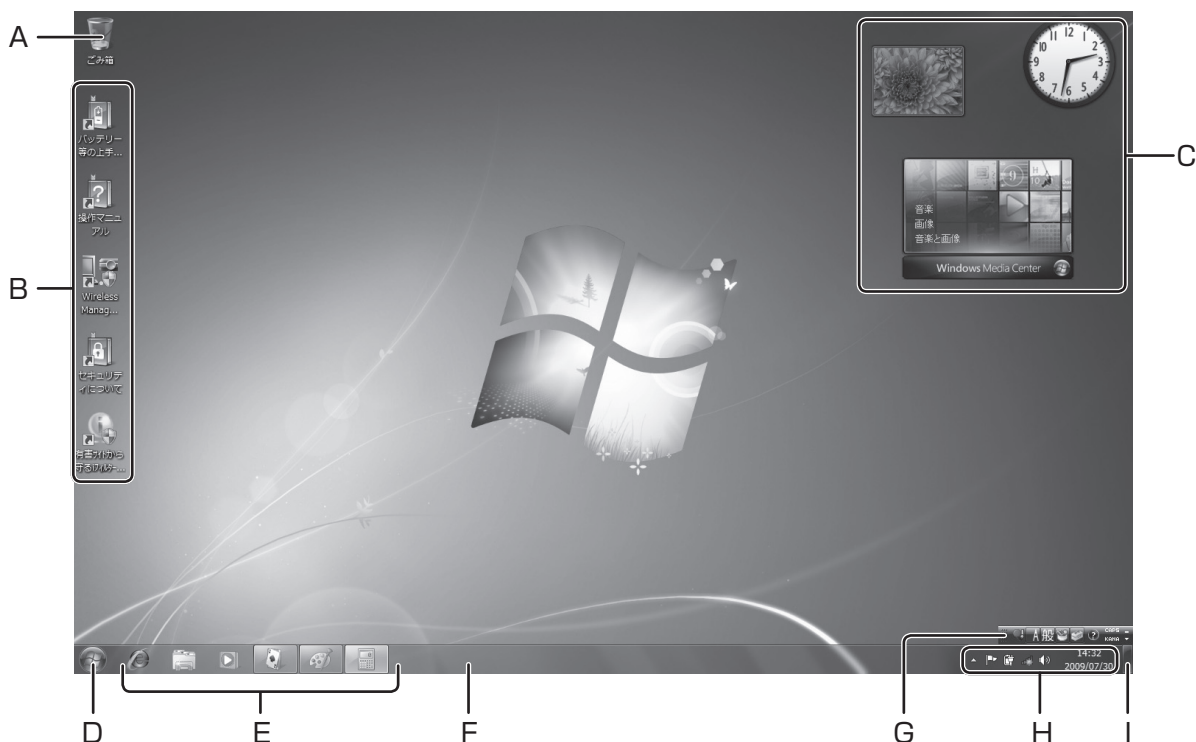
C　ロック
他のユーザーが使えないよう、パソコンを一時的にロックします。電源は切れず作業状態もそのまま残ります。パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してロックを解除します。

D　再起動
プログラムや表示していた画面がすべて終了し、Windowsが再起動します。

E　スリープ
作業状態をメモリーに保存してパソコンを終了します。スリープ状態から復帰するには、電源スイッチで電源を入れてください。ログオンをすると、スリープ状態に入る前の状態に戻ります。

F　休止状態
作業内容をハードディスクに保存してWindowsを終了します。休止状態から復帰するには電源スイッチで電源を入れてください。ログオンをすると、休止状態に入る前の状態に戻ります。

デスクトップ画面を使う

デスクトップの表示について

A ごみ箱
不要になったファイルやフォルダーなどを削除します。

B プログラムやフォルダーのアイコン
ダブルクリックすると、プログラムが起動したりフォルダーが開いたりします。

C ガジェット
デスクトップ上に、時計やスライドショーなどの小さなプログラムを表示します。（➡8ページ）

D （スタート）ボタン
[スタート] メニューを表示します。

E タスクバーボタン
プログラムのアイコンを表示します。アイコンをクリックするごとにプログラムのウィンドウを閉じたり開いたりできます。
右クリックすると、ジャンプリストが表示されます。（➡12ページ）

F タスクバー
タスクバーボタン、通知領域が表示されています。

G 言語バー
文字入力の状態を表示します。変換方法を設定したりできます。（➡14ページ）

H 通知領域
時刻、電源、スピーカーなど、さまざまな状態を通知します。（➡12ページ）

I [デスクトップの表示] ボタン
Windows Aeroの場合は、ポインターを合わせると、ウィンドウの枠線だけが表示され、デスクトップが透けて見えます。（デスクトッププレビュー）
クリックすると、開いているウィンドウをすべて最小化してデスクトップを表示したり、元に戻したりします。

ガジェットを表示する

デスクトップ上に、ガジェットと呼ばれる小さなプログラムを表示することができます。

ガジェットを表示する

1 **デスクトップ上で右クリックして、[ガジェット]をクリックする。**

ガジェットの一覧が表示されます。

2 **ガジェットの一覧から、表示するガジェットをダブルクリックする。**

ガジェットがデスクトップに表示されます。

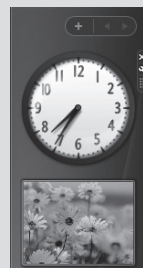
ガジェットを設定する／閉じる

ガジェットにポインターを合わせると、右側に操作ボタンが表示されます。

A オプション
ガジェットの設定画面が表示され、デザインの変更などができます。

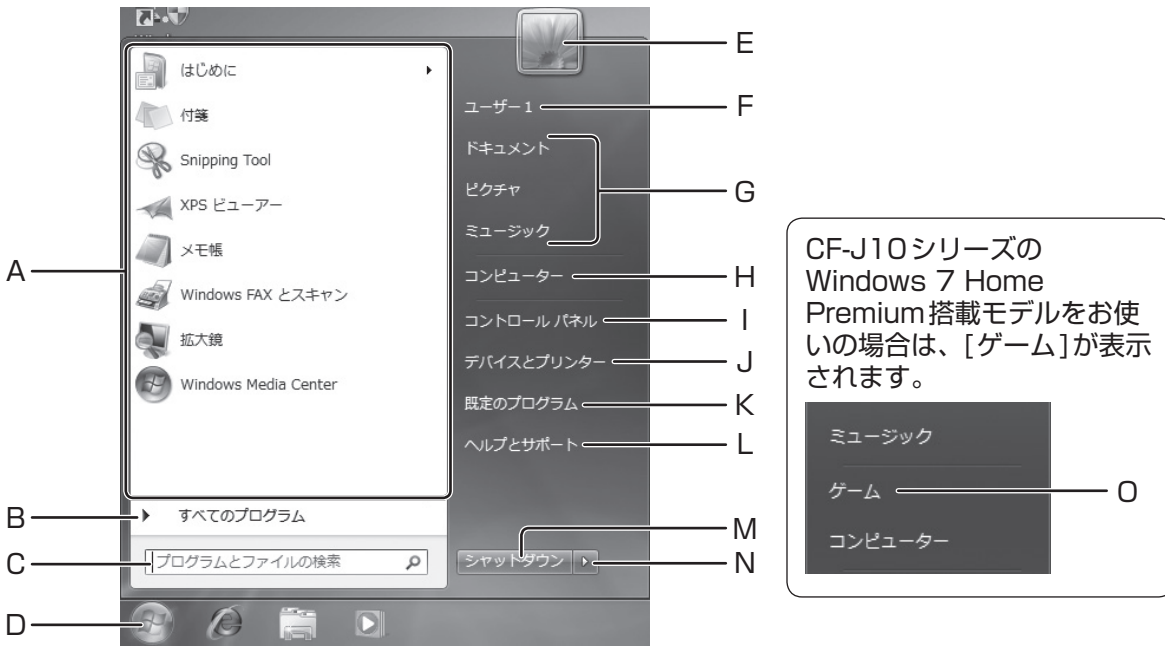
B 閉じる
ガジェットを閉じます。

C ガジェットのドラッグ
ガジェットをドラッグすると、デスクトップ上の好きなところに移動できます。

Windows Vistaでは
Windowsサイドバーを起動して、ガジェットを表示しました。
Windows 7ではサイドバーがなくなり、ガジェットのみを表示します。

[スタート]メニューとタスクバーを使う

[スタート]メニューについて

CF-J10シリーズのWindows 7 Home Premium搭載モデルをお使いの場合は、[ゲーム]が表示されます。

ミュージック
ゲーム
コンピューター
O

A　**最近使ったプログラム**

最近使ったプログラムが一覧で表示されます。クリックするとプログラムを起動します。
右側の ▸ にポインターを合わせると、ジャンプリストが表示されます。（➡11ページ）

メ モ

最近使ったプログラムを右クリックして、表示されるメニューの[この一覧から削除]をクリックすると、最近使ったプログラムに表示されなくなります。

B　**すべてのプログラム**

パソコンにインストールされているプログラムが表示されます。起動するプログラムをクリックします。（➡11ページ）

C　**プログラムとファイルの検索**

探したい項目の名前を入力すると、1文字入力するたびに、その文字列を含む項目が画面に表示されます。プログラム、ファイル、電子メール、Webサイトの閲覧履歴などから検索できます。

Windows XPでは

検索を行う際は、まず、どのような種類の項目を検索するか選択していました。
Windows 7の[スタート]メニューの[プログラムとファイルの検索]では、すぐに多種類の項目を対象に検索できます。

何を検索しますか?
画像、ミュージック、またはビデオ(P)
ドキュメント(ワープロ、スプレッドシート、など)(O)
ファイルとフォルダすべて(L)
コンピュータまたは人(C)
ヘルプとサポート センターの情報(I)
次の項目も実行できます...
インターネットを検索する(S)

D　**（スタート）ボタン**

[スタート]メニューを表示します。

E　**ユーザーアカウントの画像**

下の[ドキュメント]や[ピクチャ]などにポインターを合わせると図柄が変わります。クリックすると、「ユーザーアカウントの変更」画面が表示されます。

F 個人用フォルダー
ログオンしたユーザー名が表示されます。クリックすると、そのユーザーが使用できる個人用フォルダーなどが表示されます。

G ドキュメント、ピクチャ、ミュージック
文書や画像、音楽など、各フォルダーに保存されたファイルが表示されます。

H コンピューター
各ドライブにアクセスします。ドライブの残り記憶容量なども確認できます。

I コントロールパネル
プログラムの削除や電源の設定など、パソコンの動作を設定します。

メモ

[コンピューター]または[コントロールパネル]を右クリックして、表示されるメニューの[デスクトップに表示]をクリックすると、それぞれのアイコンがデスクトップに表示されます。

J デバイスとプリンター
パソコンに接続されている機器やプリンターを表示したり、新しく追加したりします。

K 既定のプログラム
インターネット、画像の閲覧、音楽の再生などに使うプログラムを指定します。

L ヘルプとサポート
Windowsの操作がわからないときや、用語を調べたいときなどに使います。

メモ

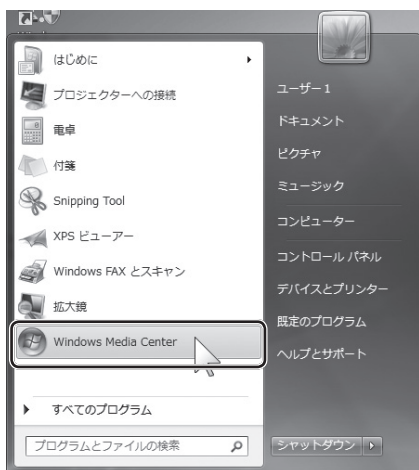
「ヘルプとサポート」はWindows 7の使い方を説明したものです。
パソコン本体の操作については、付属の『取扱説明書 基本ガイド』および『操作マニュアル』をご覧ください。

M シャットダウン
Windowsを終了して、パソコンの電源を切ります。(➡6ページ)

N ボタン
メニューから[ユーザーの切り替え]や[再起動]などを選択します。

O ゲーム
(Windows 7 Home Premiumのみ表示)
ゲームの一覧が表示されます。

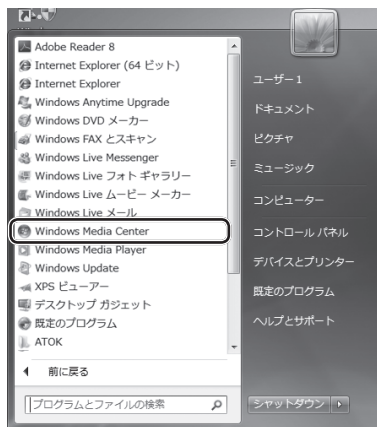
[スタート]メニューに表示されているプログラムを起動する

1 起動するプログラムをクリックする。

プログラムが起動します。

[スタート]メニューに表示されていないプログラムを起動する

1 [スタート]メニューの[すべてのプログラム]をクリックする。

プログラムが表示されます。

2 起動するプログラムをクリックする。

プログラムが起動します。

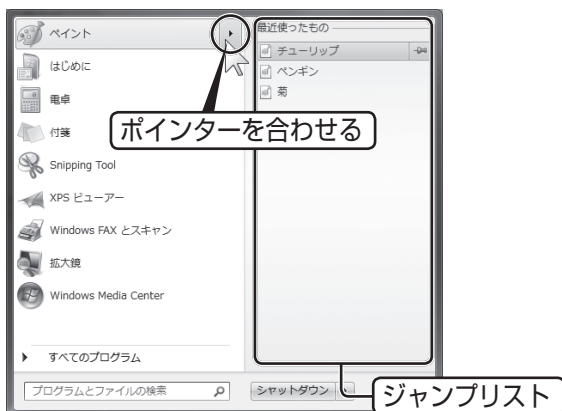
メモ

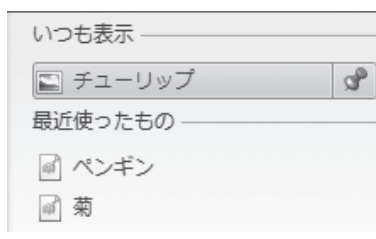
フォルダー（ ）をクリックすると、フォルダーに登録されているプログラムが表示されます。

Windows XPでは

項目をクリックするごとに、新しいウィンドウが別の位置に表示されていました。
Windows 7では、[スタート]メニューのウィンドウは1つだけ表示され、その中で表示内容が変わります。

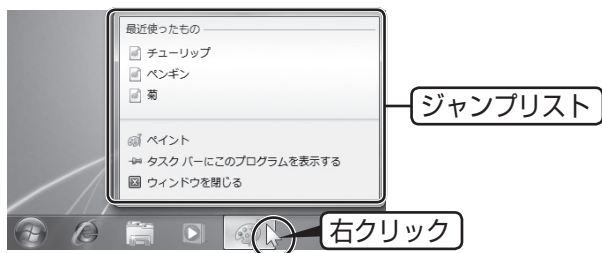
ジャンプリストを使う

[スタート]メニューのプログラムの右側に、 が表示されることがあります。
このマークにポインターを合わせると、ジャンプリストというメニューが表示されます。ジャンプリストには、最近使ったファイルなどが表示され、クリックして直接ファイルを開くことができます。

メモ

をクリックして、アイコンを にすると、ジャンプリストに常に表示させておくことができます。

[スタート]メニューとタスクバーを使う

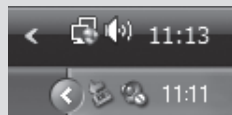
タスクバーを使う

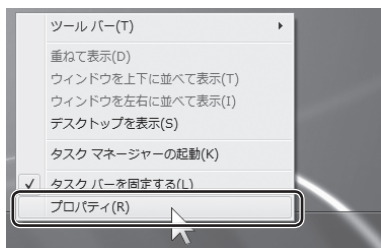
ジャンプリストを使う

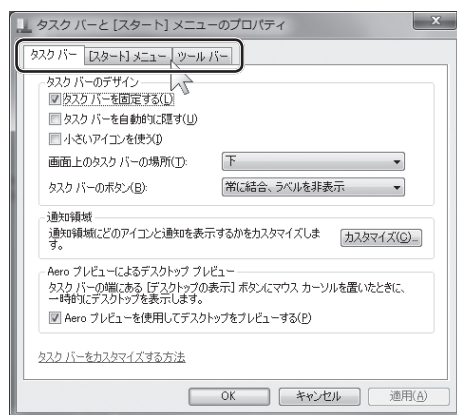
タスクバーボタンを右クリックすると、ジャンプリストが表示されます。
主な使い方は、[スタート]メニューのジャンプリストと同じです。（➡11ページ）

通知領域について

画面右下の通知領域に表示されていないアイコンがあるときは、通知領域の左に▲が表示されます。
▲をクリックすると、通知領域に表示されていないアイコンが一覧で表示されます。

Windows Vista、Windows XPでは

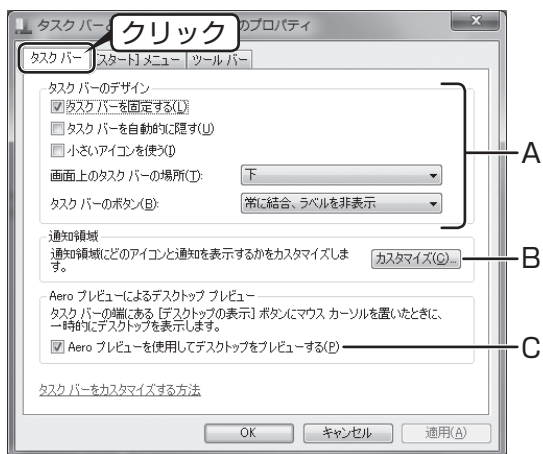
通知領域の左に表示される矢印をクリックして、通知領域に表示されていないアイコンを表示していました。

タスクバーと[スタート]メニューを設定する

1 タスクバーの上のボタンなどがない場所で右クリックして、[プロパティ]をクリックする。

「タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ」画面が表示されます。

2 設定したい項目をクリックする。

メモ

ここでは、タスクバーと[スタート]メニューの設定方法について説明します。
ツールバーの設定方法については、Windowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

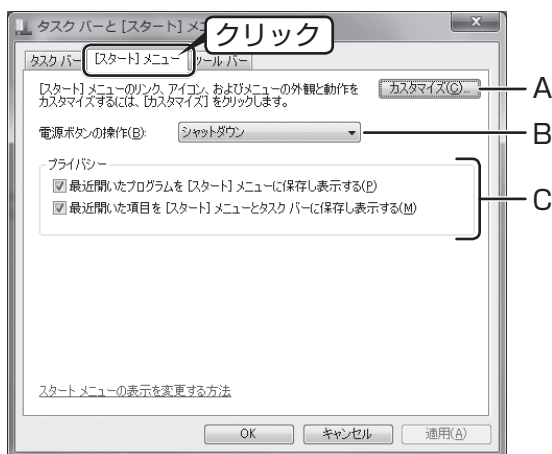
タスクバーを設定する

タスクバーの設定を行います。

A タスクバーのデザイン
タスクバーの場所を変更したり、タスクバーボタンの表示方法を変更したりします。

B 通知領域
画面右下の通知領域に表示するアイコンを変更します。常にすべてのアイコンを表示させることもできます。
（➡12ページ）

C Aeroプレビューによるデスクトッププレビュー
タスクバー右端の[デスクトップの表示]ボタンにポインターを合わせたとき、デスクトッププレビューを表示するかどうかを設定します。
この項目は、Windows Aeroを使用しているときのみ有効です。

[スタート]メニューを設定する

[スタート]メニューの設定を行います。

A [スタート]メニューのカスタマイズ
[スタート]メニューに表示される項目の表示／非表示を切り替えます。
また、コンピューターやコントロールパネルなどの項目を「メニューとして表示する」に設定すると、[スタート]メニューから直接操作できます。

B 電源ボタンの操作
[スタート]メニューの シャットダウン ボタンに割り当てられている動作を、再起動やスリープなどに変更します。

C プライバシー
チェックマークを外すと、[スタート]メニューに、最近使ったプログラムやファイルが表示されなくなります。

文字入力のしかた

文字入力でよく使う機能について説明します。
日本語入力システムなどをインストールしている場合は、言語バーの表示などが本書の説明と異なります。

A バーハンドル
言語バーをドラッグして移動します。

B 入力モード
入力する文字の種類が表示されます。クリックすると入力モードを変更できます。
[半角/全角 漢字]を押すと、半角英数入力モードとその他の入力モードが切り替わります。

表示	入力モード
あ	ひらがな
カ	全角カタカナ
A	全角英数
_ｶ	半角カタカナ
_A	半角英数

C 文字変換モード
文字の変換モードが表示されます。クリックすると文字変換モードを変更できます。

表示	変換モード	用途
般	一般	通常使用するモード
名	人名/地名	人名帳、住所録など
話	話し言葉	優先会話調の文章、顔文字など
無	無変換	変換キーを使わずにそのまま入力するとき

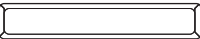
D CAPSキーロック状態
アルファベット入力モードの状態を表示します。

[CAPS]表示	入力モード
色付きではないとき	小文字アルファベット
色付き状態のとき	大文字アルファベット

[CAPS]表示をクリック、または[Shift]を押しながら[Caps Lock 英数]を押すと、入力モードが切り替わります。

E 最小化
言語バーをタスクバーに格納します。

F KANAキーロック状態
日本語入力モードの状態を表示します。

ローマ字入力
[KANA]の表示が色付きではないとき
例：「は」と入力するには
[H] ……▶ [A] ローマ字のつづりをキー左側のアルファベットで入力する。

かな入力
[KANA]の表示が色付き状態のとき
例：「は」と入力するには
[F は] キー右側のひらがなをそのまま入力する。

[KANA]表示をクリック、または[Alt]を押しながら[カタカナ ひらがな]を押すと、日本語入力モードが切り替わります。

キー上の文字を入力するには（下図は一例です）

入力モードを「英数」にして
そのまま押す。（「A」または「a」を入力）
[Shift]を押しながら押す。（「{」）
そのまま押す。（「[」）

入力モードを「ひらがな」「カタカナ」にし、入力方法をかな入力にして
そのまま押す。（「ち」または「チ」を入力）
[Shift]を押しながら押す。（「「」）
そのまま押す。（「。」）

文字入力でよく使うキー（用途は一例です）

キー	用途
Enter ↵ （エンターキー）	●文字を確定する。 ●改行する。
（スペースキー）	●カタカナや漢字に変換する。 ●空白を入れる。
Back space （バックスペースキー）	●カーソルの左側の文字を消す。 ●改行を取り消す。
Del または Del （デリートキー）	●カーソルの右側の文字を消す。 ●改行を取り消す。
⇧ Shift または ⇧ Shift （シフトキー）	他のキーと組み合わせて使う。 ●Shiftを押しながらアルファベットキーを押すと大文字で入力される。 ●Shiftを押しながら数字キーまたは記号キーを押すと、キーの上部に印字されている文字が入力される。
← → ↑ ↓	●カーソルを動かす。
半角/全角 漢字 または 半角/全角 漢字	●「半角英数」入力モードとその他のモードを切り替える。
Caps Lock 英数	●「英数」入力モードに切り替える。 ●Shiftを押しながらCaps Lock 英数を押した後にアルファベットキーを押すと、常に大文字で入力される。（キャップスロック状態といいます〈Aが点灯〉。この状態で小文字を入力するにはShiftを押しながらアルファベットキーを押してください。）

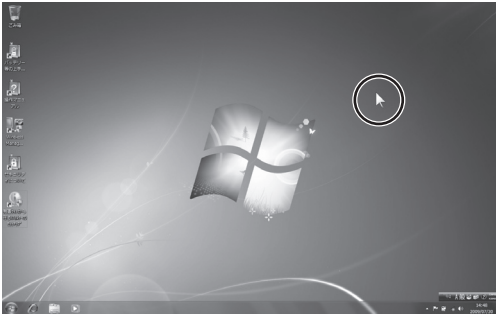
記号や特殊文字を入力する（下表は一例です）

～ （チルダ、ニョロ）	「英数」入力モードでShiftを押しながら ～ ^ へ を押す。
＿ （アンダーバー、アンダースコア）	「英数」入力モードでShiftを押しながら ＿ \ ろ を押す。
＼ （バックスラッシュ）	＿ \ ろ （文字フォントによっては「¥」と表示されます。）
欧文・学術・ギリシャ文字や、アッパーバー（￣）、々などの一般記号	「ひらがな」「カタカナ」入力モードで「きごう」または「キゴウ」と入力し、スペースキーを２回押して、表示される一覧の中から目的の記号を選ぶ。

デスクトップをデザインする

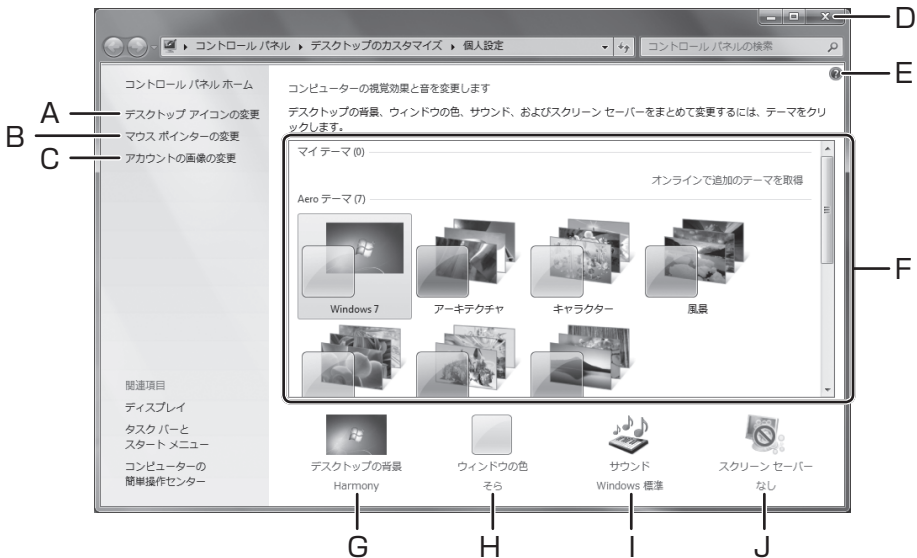
「個人設定」画面を表示する

デスクトップの背景（壁紙）、ウィンドウの色、起動時のサウンドなどを、ユーザーアカウントごとに変更することができます。

1 デスクトップ上のアイコンなどがない場所で右クリックする。

ショートカットメニューが表示されます。

2 [個人設定]をクリックする。

「個人設定」画面が表示されます。

「個人設定」画面について

A　デスクトップアイコンの変更
デスクトップに表示されるアイコン（ごみ箱など）の表示／非表示を設定します。

B　マウスポインターの変更
ポインターを変更します。（➡17ページ）

C　アカウントの画像の変更
アカウント画像を変更します。

D　[x] ボタン
「個人設定」画面を閉じます。

E　ヘルプ
「個人設定」画面のヘルプを表示します。

F　テーマ
クリックしてテーマを適用します。
（➡18ページ）

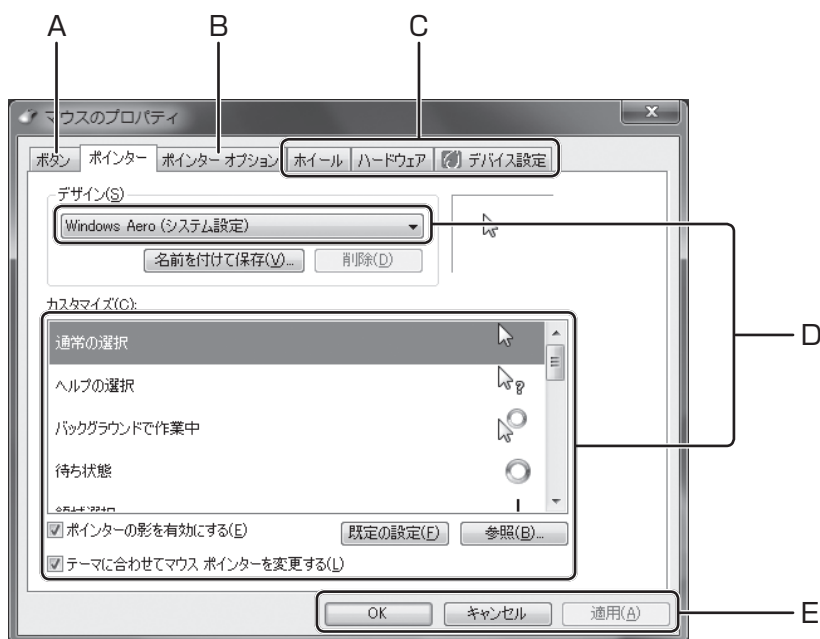
G デスクトップの背景
デスクトップの背景（壁紙）を変更します。
（➡19ページ）

H ウィンドウの色
ウィンドウの色とデザインを変更します。
（➡20ページ）

I サウンド
サウンドを変更します。（➡21ページ）

J スクリーンセーバー
スクリーンセーバーを変更します。
（➡22ページ）

マウスポインターを変える

ポインターの種類を選択したり、操作中の特定の場面でいろいろな形に変化させたりすることができます。
「個人設定」画面（➡16ページ）で[マウスポインターの変更]をクリックします。

A [ボタン]タブ
ダブルクリックの速度などを設定できます。

B [ポインターオプション]タブ
ポインターの移動速度などを設定できます。

C その他の設定
その他の項目を設定できます。

D デザインとカスタマイズ
[デザイン]でポインターの形を選択します。
[カスタマイズ]に、各場面で表示されるポインターの形が表示されます。
ポインターの形を場面ごとに変更する場合は、[通常の選択]などの場面をクリックし、[参照]をクリックしてデザインを選択してください。
変更した設定は、[名前を付けて保存]をクリックして保存したり、[削除]をクリックして削除したりできます。

E 設定の終了
[OK]をクリックして終了します。
変更しない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。
変更後の状態を確認したいときは、[適用]をクリックしてください。

デスクトップをデザインする

テーマを変える

「デスクトップの背景」、「ウィンドウの色」、「サウンド」、および「スクリーンセーバー」の各設定をまとめて、テーマとして保存することができます。
「個人設定」画面（➡16ページ）に表示されているテーマをクリックします。

A　未保存のテーマ
「デスクトップの背景」、「ウィンドウの色」、「サウンド」および「スクリーンセーバー」の各設定を変更すると、テーマが作成されます。
作成されたテーマは、「未保存のテーマ」として表示されます。

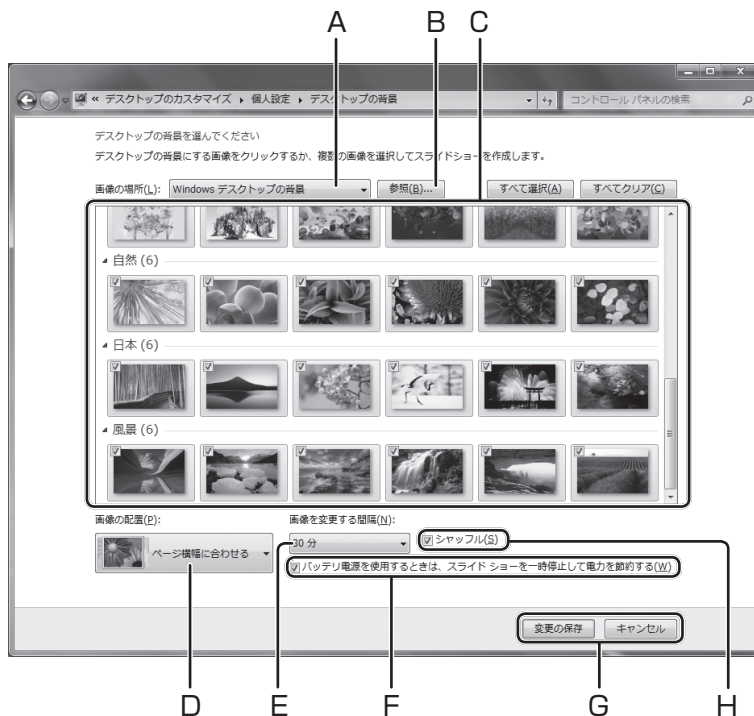
B　テーマの保存
［テーマを保存］をクリックすると、作成したテーマが保存されます。

C　テーマの一覧
保存されているテーマが表示されます。
テーマをクリックすると、デスクトップのデザインが変更されます。
Windows Aeroを設定する場合は、「Aeroテーマ」の中からテーマを選択します。
Windows Aeroを設定しない場合は、「ベーシックテーマとハイコントラストテーマ」の中からテーマを選択します。

メモ

- 画面の色を16ビットに設定していると、Windows Aeroに設定できません。
- 「Aeroテーマ」を使用するとバッテリーの駆動時間が短くなります。
  必要に応じて「Aeroテーマ」以外に設定してください。
- ウィンドウを立体表示するなどの操作は「Aeroテーマ」以外ではできません。

デスクトップの背景（壁紙）を変える

お買い上げ時に用意されている画像だけでなく、デジタルカメラで撮影した写真データなども壁紙に使うことができます。
「個人設定」画面（➡16ページ）で[デスクトップの背景]をクリックします。
設定が終了したら、[変更の保存]をクリックします。

A 画像の場所
画像がある場所を指定します。

B 参照
他のフォルダーなどから画像を選択するときに使います。

C 背景の一覧
好みの画像をクリックすると背景が変わります。

また、画像にポインターを合わせると画像の左上にチェックボックスが表示されます。チェックマークを付けた画像は、一定時間ごとに画像を切り替えるスライドショーに設定できます。

メモ

デスクトップの背景に指定した画像を別のフォルダーに移動したり削除したりすると、次回起動時に画像が表示されなくなります。

D 画像の配置
画像の配置方法を選択します。

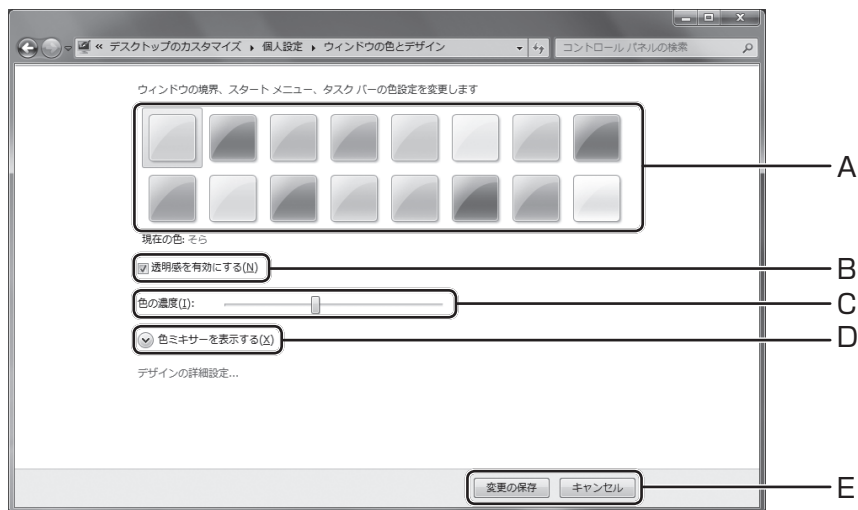
E 画像を変更する間隔
スライドショーで画像を切り替える時間を指定します。

F スライドショーの一時停止
バッテリーのみで駆動しているとき、スライドショーを一時停止してバッテリーの消費をおさえます。

G 設定の終了
[変更の保存]をクリックして終了します。変更しない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

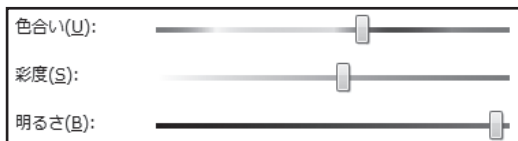
H シャッフル
スライドショーの表示順序を入れ替えます。

ウィンドウの色とデザインを変える

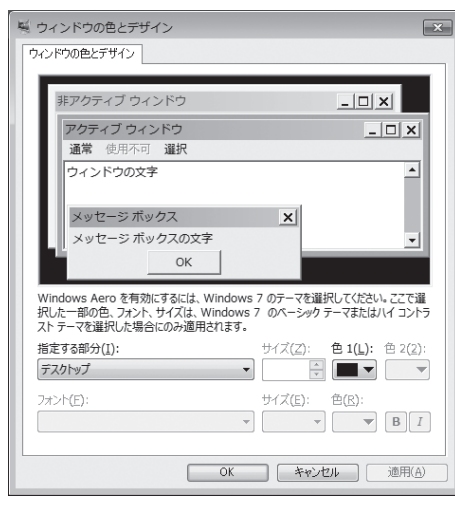
フォルダーやメッセージボックスなどの色やデザインを選ぶことができます。
「個人設定」画面（➡16ページ）で[ウィンドウの色]をクリックします。
設定が終了したら、[変更の保存]をクリックします。

A ウィンドウの色
ウィンドウの色を選択します。

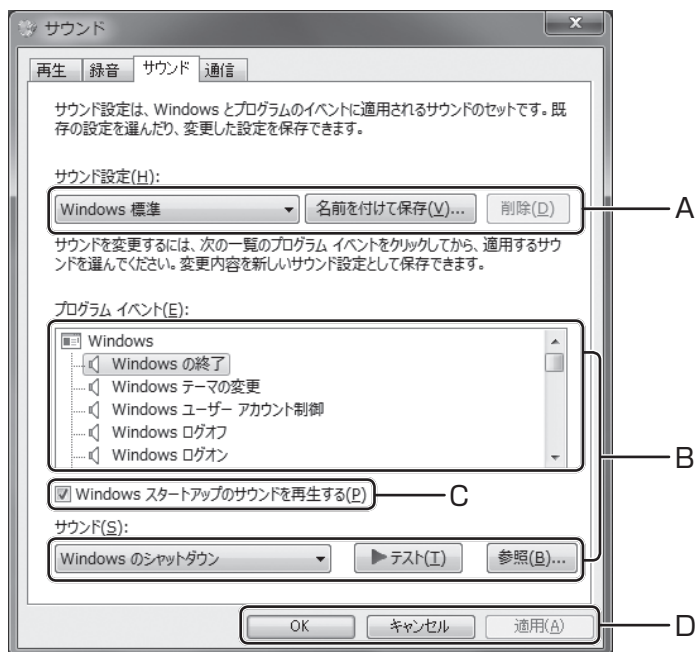
B 透明感を有効にする
ウィンドウの色を透明にする／しないを選択します。

C 色の濃度
ウィンドウの色の濃度を選択します。

D 色ミキサーを表示する
をクリックして色ミキサーを表示します。細かい色設定を行うことができます。

E 設定の終了
[変更の保存]をクリックして終了します。
変更しない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

メモ

Windows Aeroに設定していない場合は、次の画面が表示されます。

サウンドを変える

ログオン・ログオフ時や、操作エラー、メッセージ表示など、いろいろな場面で鳴らす音を選択することができます。
「個人設定」画面（➡16ページ）で[サウンド]をクリックします。
設定が終了したら、[OK]をクリックします。

A サウンド設定
変更したサウンド設定に名前を付けて保存できます。
（お買い上げ時は[Windows 標準]）
保存した後でも、音を変更したり、サウンド設定を削除したりできます。

B プログラムイベントとサウンド
[プログラムイベント]で音を鳴らす場面を選択し、[サウンド]で音を選択します。
[（なし）]を選択すると音が鳴りません。
[テスト]をクリックすると、音を確認することができます。
[サウンド]の一覧に表示されていない音を選択するには、[参照]をクリックします。

C Windowsスタートアップのサウンドを再生する
チェックボックスをクリックしてチェックマークを外すと、Windows起動時の音が鳴らなくなります。

D 設定の終了
[OK]をクリックして終了します。
変更しない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。
変更後の状態を確認したいときは、[適用]をクリックしてください。

スクリーンセーバーを変える

スクリーンセーバーの種類や、スクリーンセーバーに移行するまでの待ち時間などを変更できます。
「個人設定」画面（➡16ページ）で[スクリーンセーバー]をクリックします。

A　スクリーンセーバーの選択
スクリーンセーバーの種類を選択します。

B　待ち時間
パソコンを操作しなかったときに、スクリーンセーバーに移行するまでの待ち時間を設定できます。

C　設定
選択したスクリーンセーバーによっては、さらに細かい設定が行えます。

D　プレビュー
選択したスクリーンセーバーを確認することができます。

E　再開時にログオン画面に戻る
チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けておくと、スクリーンセーバー解除時にログオン画面を表示させることができます。

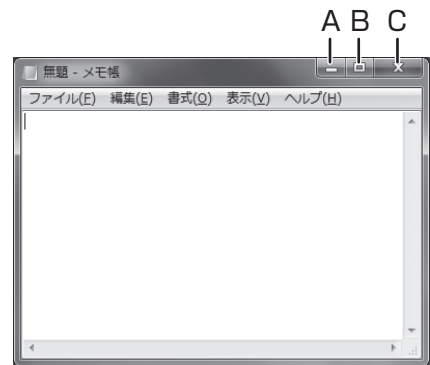
F　設定の終了
[OK]をクリックして終了します。
変更しない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。
変更後の状態を確認したいときは、[適用]をクリックしてください。

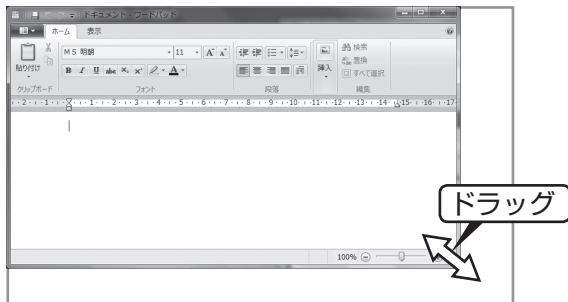
ウィンドウを操作する

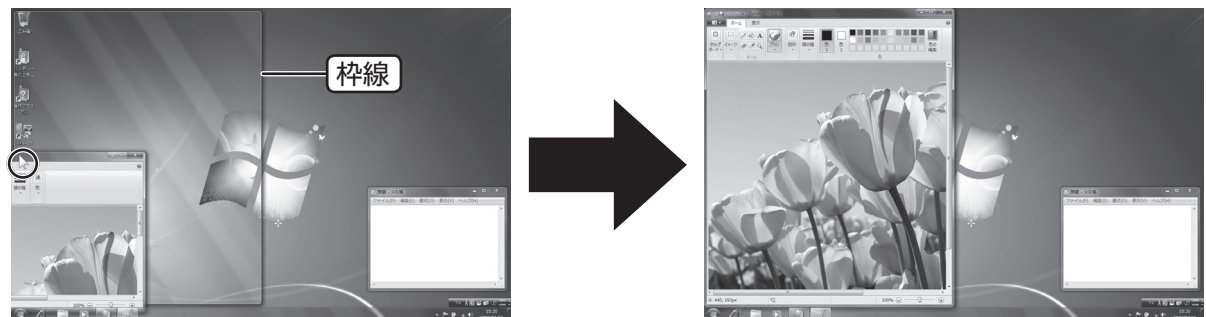
ウィンドウのサイズを変える

A 最小化する
ウィンドウを最小化してタスクバーボタンに格納します。元の大きさに戻すには、タスクバーボタンをクリックします。

B 最大化する
画面全体にウィンドウを表示します。タイトルバーをダブルクリックしても最大化できます。最大化するとが に変わります。元の大きさに戻すには、をクリックします。

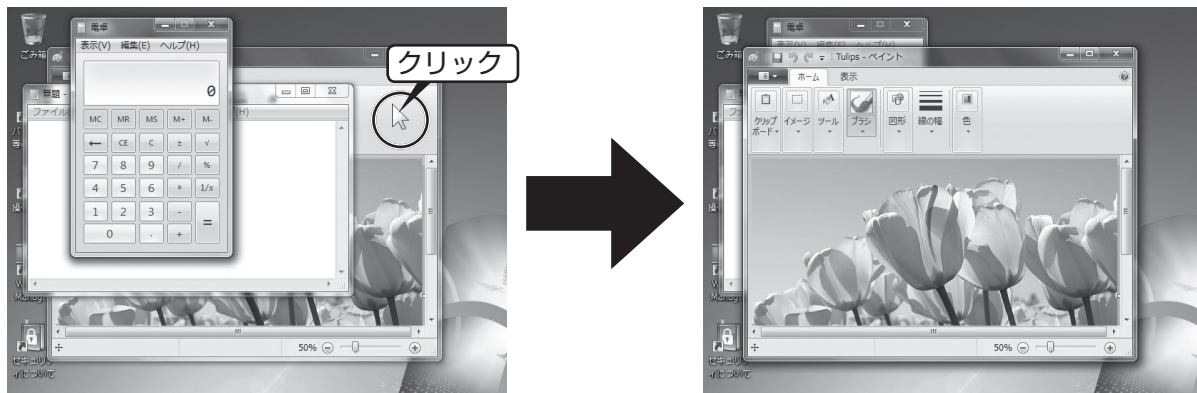
C 閉じる
ウィンドウを閉じます。

ウィンドウを好みの大きさにするには

拡大したい（または縮小したい）方向の端をドラッグします。
（図は右下に拡大 / 縮小する場合の操作です。）

1 つのウィンドウを画面の半分に表示する

ウィンドウのタイトルバーをドラッグしたまま画面の左端または右端まで移動し、枠線が表示されたところでホイールパッドから指を離します。ウィンドウが画面の左または右の半分に表示されます。

ウィンドウを切り替える

複数のウィンドウが重なって表示されているとき、作業したいウィンドウを手前に切り替えるには、次のような方法があります。

見えている部分をクリックする

手前に表示するウィンドウをクリックします。

タスクバーボタンをクリックする

タスクバーボタンをクリックします。1つのアプリケーションソフトに対して複数のウィンドウがある場合は、ウィンドウのプレビューが表示されます。その場合は、ウィンドウのプレビューをクリックします。

Windows Aeroの場合は、ウィンドウのプレビュー上にポインターを合わせると、他のウィンドウが透けて、プレビューされているウィンドウが表示されます。
（Aero Peek）

ショートカットキーを使う

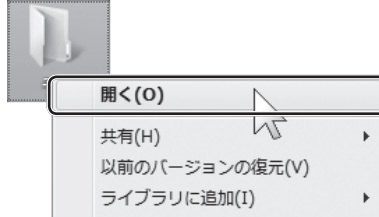
[Alt]＋[Tab]を押してウィンドウを切り替えます。
Windows Aeroの場合は、[Alt]＋[Tab]を押すと、すべてのウィンドウのプレビューが並んで表示され、[⊞]＋[Tab]を押すと、すべてのウィンドウが立体的に表示されます。
[Alt]または[⊞]を押したまま[Tab]を押して、表示するウィンドウを選択します。[Alt]または[⊞]と[Shift]を押したまま[Tab]を押すと、逆方向に選択できます。すべてのキーを離すと、選択したウィンドウに切り替わります。

フォルダーやファイルを操作する

フォルダーを開く

デスクトップ上のフォルダーや、フォルダー内にあるフォルダーは、次の操作で開くことができます。

フォルダーをダブルクリックする。

フォルダーを右クリックし、[開く]をクリックする。

フォルダーの表示について

A　前に戻る
前の画面に戻ります。

B　次に進む
次の画面に進みます。

C　アドレスバー
表示しているフォルダーの場所や名前が表示されます。この場合は、[ライブラリ]フォルダーの中にある、[ドキュメント]フォルダーを表示しています。

D　検索ボックス
ファイルやフォルダーを検索します。
1文字入力するたびに、一致した結果が順次表示されます。

E　ツールバー
フォルダーの内容に応じた作業のメニューが表示されます。

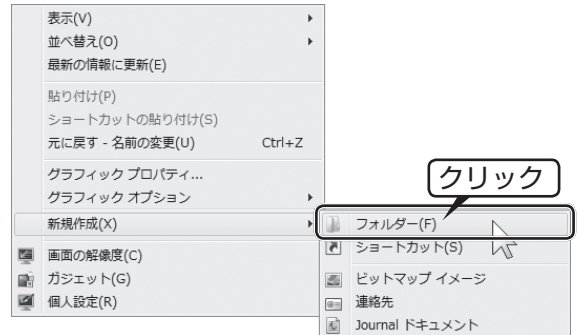
F　ファイルリスト
フォルダーの内容が表示されます。

G　ナビゲーションペイン
各フォルダーをクリックするとファイルリストに内容が表示されます。
[ドキュメント]、[ピクチャ]、[ビデオ]、[ミュージック]フォルダーは、お買い上げ時から用意されているフォルダーです。データを作成したりダウンロードしたりしたときなどは、保存先を指定する画面で、データの種類に合ったフォルダーが表示されます。

新しいフォルダーを作る

デスクトップ上またはフォルダーの中に新しいフォルダーを作るには、次の方法があります。

右クリックを使う

デスクトップ上、またはフォルダー内のファイル表示などがない場所で右クリックし、[新規作成]-[フォルダー]をクリックする。
新規フォルダーのアイコンが作成されます。「新しいフォルダー」の文字が反転していますので、フォルダー名を入力してください。

フォルダーのメニューを使う

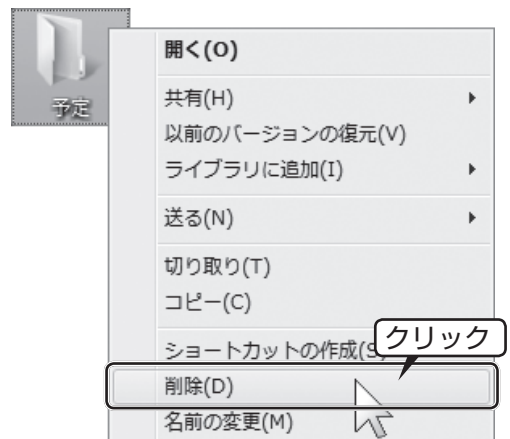
フォルダー内に新しいフォルダーを作ります。

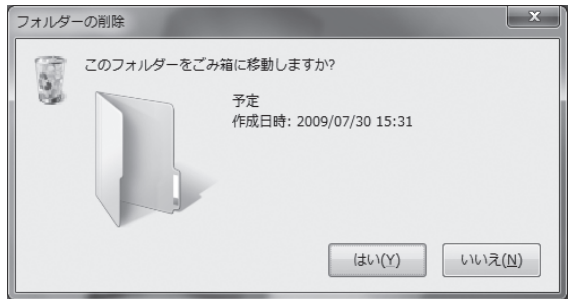
[新しいフォルダー]をクリックする。
新規フォルダーのアイコンが作成されます。「新しいフォルダー」の文字が反転していますので、フォルダー名を入力してください。

フォルダーやファイルを削除する

デスクトップ上またはフォルダー内のフォルダーやファイルを削除するには、次の方法があります。

右クリックを使う

削除するフォルダーやファイルを右クリックし、表示されるメニューの[削除]をクリックする。
「フォルダーの削除」画面または[ファイルの削除]画面が表示されますので、画面の指示に従って[はい]をクリックしてください。

キーボードを使う

削除するフォルダーやファイルをクリックし、Delを押す。
「フォルダーの削除」画面または[ファイルの削除]画面が表示されますので、画面の指示に従って[はい]をクリックしてください。
Shiftを押しながらDelを押すと、ごみ箱に入れずに完全に削除できます。

ごみ箱について

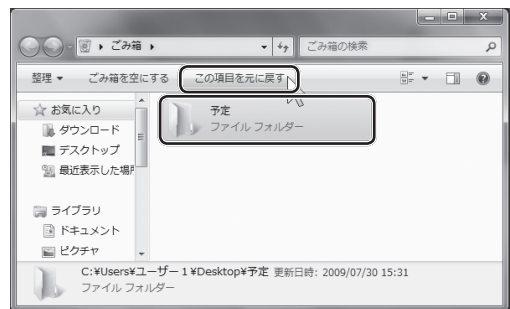
削除したファイルやフォルダーは、パソコンから完全に削除される前に、ごみ箱に移動されます。

元の場所にファイルやフォルダーを戻す

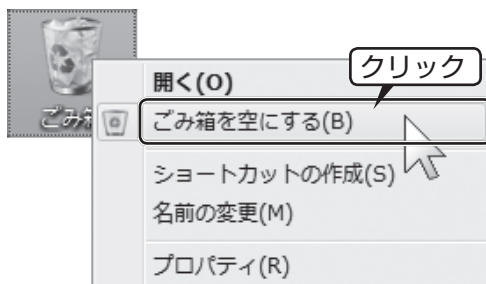
元の場所に戻すことができるのは、ごみ箱にあるファイルやフォルダーのみです。ごみ箱を空にしてしまった場合は、ファイルやフォルダーを元の場所に戻すことができません。

1 デスクトップのごみ箱をダブルクリックする。

ごみ箱にあるファイルやフォルダーが表示されます。

2 元に戻すファイルやフォルダーを選択して、[この項目を元に戻す]をクリックする。

元の場所にファイルやフォルダーが戻ります。

ごみ箱を空にする

デスクトップのごみ箱を右クリックして、[ごみ箱を空にする]をクリックする。
確認画面が表示されますので、画面の指示に従って[はい]をクリックしてください。

フォルダー内の表示方法を変える

フォルダー内のファイル表示のしかたを変更することができます。

1 （その他のオプション）ボタンをクリックする。

メモ

（表示方法の変更）ボタンをクリックすると、ファイルの表示方法が順に切り替わります。

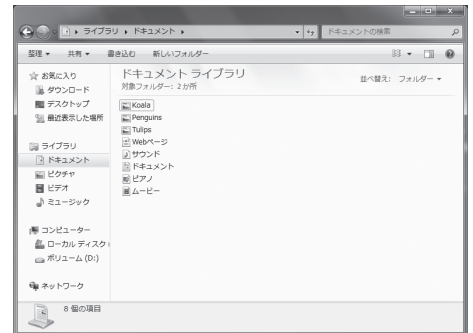
2 表示方法を選ぶ。

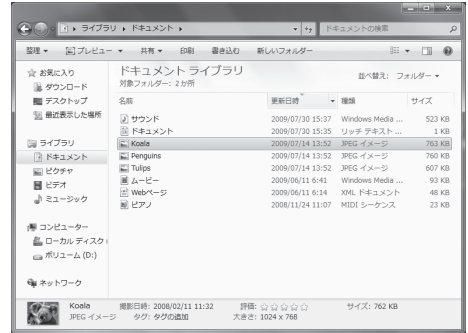
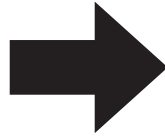
表示方法について

特大アイコン、大アイコン、中アイコン、並べて表示

ファイルのイメージがわかりやすく表示されます。
画像ファイルの場合は、縮小された画像（サムネイル）が表示されます。

小アイコン、一覧

一度に多くのファイルを表示させることができます。

詳細

ファイルのサイズや種類など、詳しい情報を表示させることができます。
また、ファイル一覧の上の表示（名前、サイズなど）をクリックすると、クリックした情報に応じてファイルを整列させることができます。（下図は、更新日時順にファイルを整列させています。）

コンテンツ

１行ごとにファイルやフォルダーが表示され、右側に撮影日、曲の長さ、サイズなどの詳しい情報が表示されます。

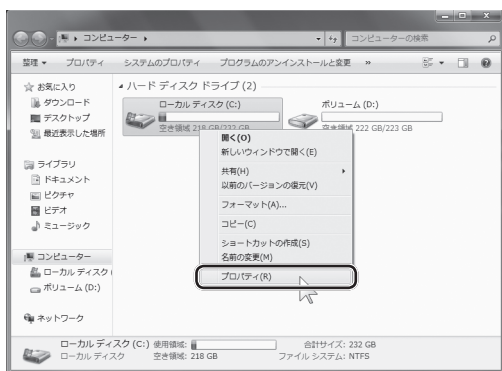
ハードディスクを最適化する

パソコンを長く使用していると、パソコンの動作が遅くなってきたと感じることがあります。ハードディスクのエラーをチェックしたり、ファイルやフォルダーを整理（最適化）したりすると、ハードディスクの動作を改善することができます。

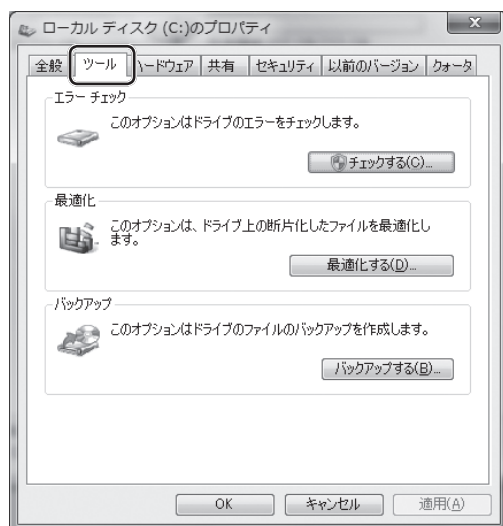
[ツール]タブを表示する

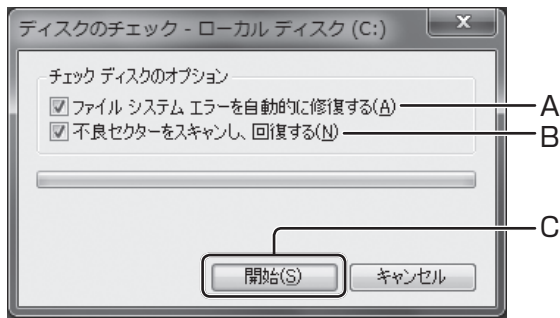
1 （スタート）ボタンをクリックして、[コンピューター]をクリックする。

「コンピューター」画面が表示されます。

2 [ローカルディスク（C:）]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。

「プロパティ」画面が表示されます。

3 [ツール]をクリックする。

（各設定については➡31ページ）

ハードディスクのエラーをチェックする

パソコンを使っているうちに、ハードディスクにあるファイルやフォルダーが壊れてしまい、正常に読み込めなくなることがあります。定期的にエラーをチェックして、ファイルやフォルダーを修復してください。
「プロパティ」画面（➡30ページの手順3）で[チェックする]をクリックします。

A　ファイルシステムエラーを自動的に修復する
　壊れているファイルやフォルダーが見つかると自動的に修復します。

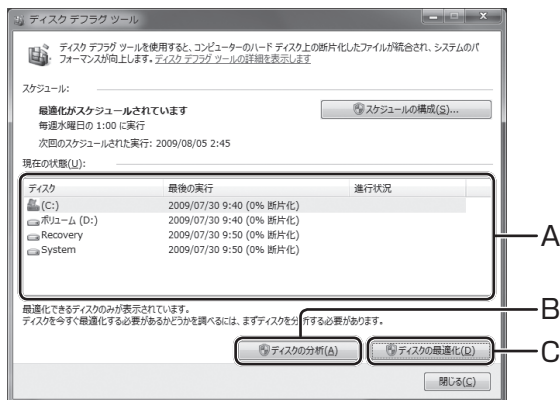
B　不良セクターをスキャンし、回復する
　すべての領域をチェックします。チェックに時間がかかります。

C　開始
　エラーのチェックを開始します。

メモ

「ディスク使用中にそのディスクを検査できません」と表示される場合は、[ディスク検査のスケジュール]ボタンをクリックします。次回、Windowsを起動したときに、エラーがチェックされます。

ファイルやフォルダーを整理（最適化）する

ファイルやフォルダーの作成や削除を繰り返すと、ハードディスクの中でデータが整理されずにバラバラに保存されてしまい、パソコンの動作が遅くなってしまうことがあります。
定期的に、最適化を行って、ファイルやフォルダーを整理してください。
「プロパティ」画面（➡30ページの手順3）で[最適化する]をクリックします。

A　現在の状態
　ハードディスクの現在の状態や、最適化の進行状況を表示します。

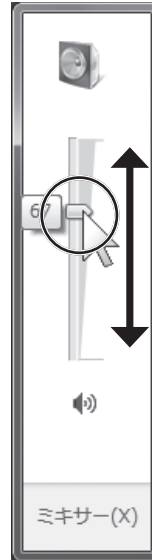
B　ディスクの分析
　ハードディスクの分析だけを行います。

C　ディスクの最適化
　ハードディスクを最適化します。
　フラッシュメモリードライブ搭載モデルをお使いの場合は、フラッシュメモリーの寿命を縮める原因になりますのでディスクの最適化を実行しないでください。

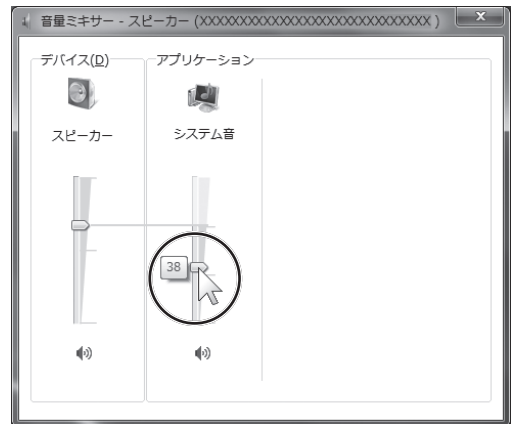
音量を調整する

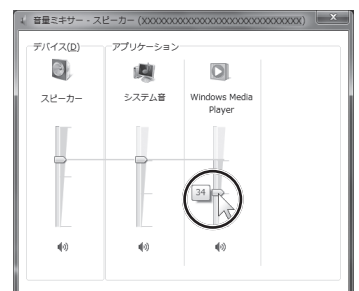
スピーカーの音量を調整する

1 🔊をクリックする。

2 ▭をスライドさせて、音量を調整する。

アプリケーションごとの音量を調整する

1 🔊を右クリックして、[音量ミキサーを開く]をクリックする。

2 ▭をスライドさせて、音量を調整する。

メモ

Windows Media PlayerやPowerDVD※1の起動中に、音量を調整できます。
（右の画面は、Windows Media Playerを起動しています。）

※1 PowerDVDは、CD/DVDドライブ搭載モデルにのみインストールされています。

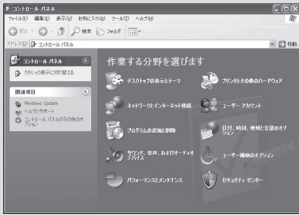
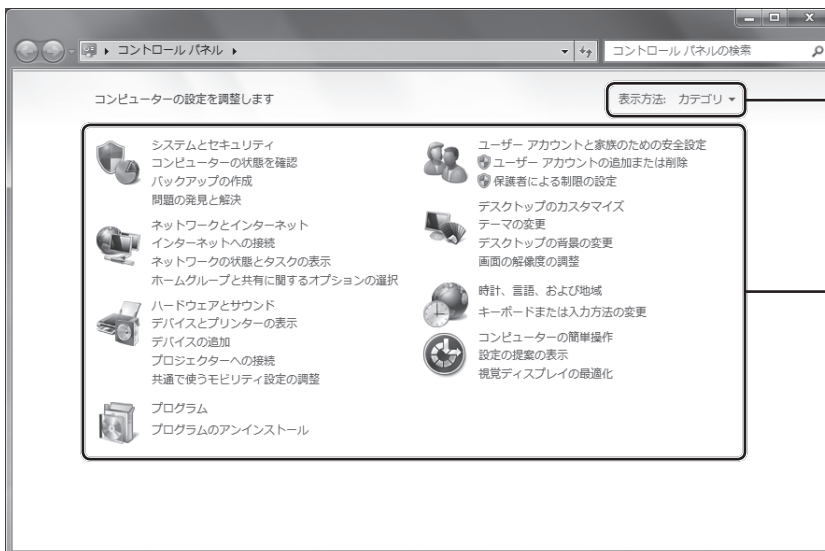
コントロールパネルで各種設定を変える

プログラムの削除や電源プランの設定など、パソコンの基本的な設定を行うことができます。

コントロールパネルを表示する

（スタート）ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックします。

Windows XPでは

コントロールパネルを表示すると、最初に種類分けされた項目が表示され、項目をクリックすると各種設定が表示されました。
Windows 7では、種類分けされた項目の下に主な設定が表示されています。

コントロールパネルについて

A 表示方法
設定項目の表示方法を、[カテゴリ]、[大きなアイコン]、[小さなアイコン]の中から選択します。

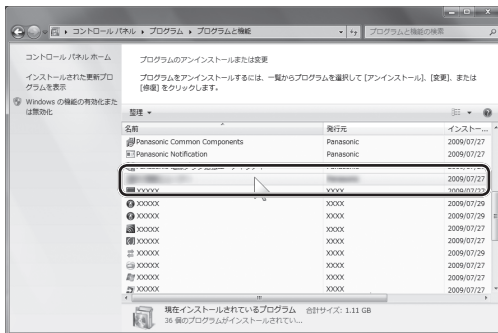
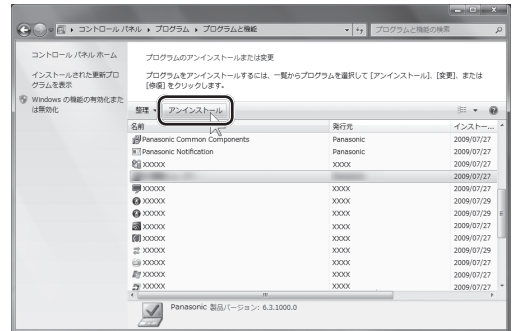
B 設定項目
クリックすると、設定項目メニューが表示されます。

コントロールパネルで各種設定を変える

プログラムを削除（アンインストール）する

1 コントロールパネルの［プログラムのアンインストール］をクリックします。

「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。

2 削除するプログラムをクリックします。

3 ［アンインストール］または［アンインストールと変更］ボタンをクリックします。

アンインストールが開始します。以降は、画面の指示に従って操作します。

メモ

Panasonic Common Componentsは削除しないでください。
パナソニックが提供する各種アプリケーションソフトが使えなくなります。

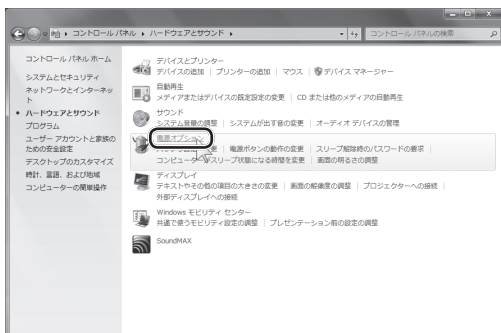
Windows XPでは

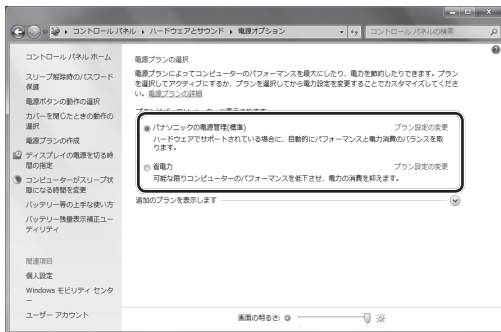
［プログラムの追加と削除］で行っていました。
Windows 7では、プログラムについての各種操作を行う［プログラム］という項目の中に統合されています。

電源プランを設定する

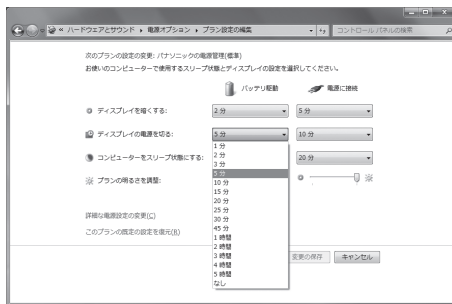
「パソコンを家庭で使う」、「パソコンを持ち歩く」などの用途にあわせて省電力の方法を変えることができます。

1 **コントロールパネルの[ハードウェアとサウンド]をクリックします。**

2 **[電源オプション]をクリックします。**

「電源プランの選択」画面が表示されます。

3 **設定したい電源プランをクリックします。**

[追加のプランを表示します]をクリックすると、他の電源プランが表示されます。

メモ

- お好みに応じて電源プランの設定を変更できます。
  [プラン設定の変更]をクリックすると、[ディスプレイを暗くする]、[ディスプレイの電源を切る]、[コンピューターをスリープ状態にする]までの時間を、[バッテリ駆動]と[電源に接続]のそれぞれで変更できます。

- 本機には、パナソニック独自の省電力機能が用意されています。詳しくは『操作マニュアル』をご覧ください。

ユーザーアカウントを設定する

ユーザー名やパスワードの変更、ユーザーアカウントの作成などが行えます。

1 コントロールパネルの［ユーザーアカウントの追加または削除］をクリックします。

「アカウントの管理」画面が表示されます。

メモ

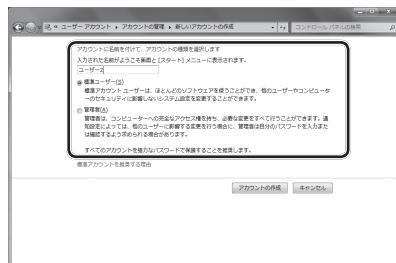
アカウントには次の２種類があります。

- 標準ユーザー
  通常使用するにはこちらを選択します。
  アプリケーションのインストールなど、Windowsの使用が一部制限されています。
- 管理者（Administratorと表示されます）
  Windowsに関する設定がすべて行えます。
  必ず、最低１人のユーザーが管理者でなければなりません。

新しくユーザーアカウントを作成する

1 「アカウントの管理」画面の［新しいアカウントの作成］をクリックします。

「新しいアカウントの作成」画面が表示されます。

2 アカウントの名前を入力し、アカウントの種類を選択します。

3 ［アカウントの作成］をクリックします。

Windowsのユーザー名を設定するときは、次の文字を使用しないでください。
@、CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9
特に「@」を含んだユーザー名を設定すると、パスワードを設定していなくてもログオン画面でパスワードの入力が求められます。空白でログオンしようとしても「ユーザー名またはパスワードが正しくありません」と表示され、ログオンできなくなります。その場合は、管理者のユーザーアカウントでログオンし、「@」を含まないユーザーアカウントを作成してください。

ユーザーアカウントの設定を変更する

1 「アカウントの管理」画面から変更するアカウントをクリックします。

「アカウントの変更」画面が表示されます。

2 変更したい項目をクリックします。
以降は画面の指示に従って操作します。

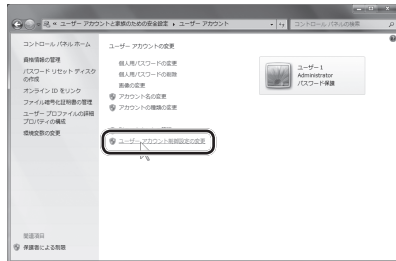
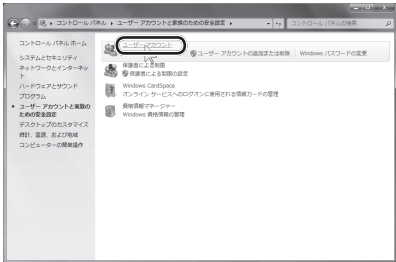
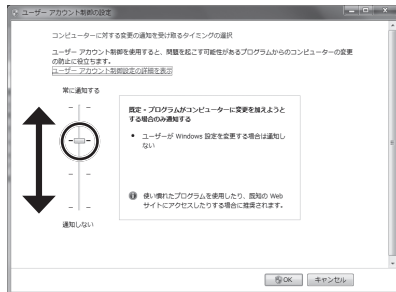
「ユーザーアカウント制御」画面を表示するタイミングを変更する

「ユーザーアカウント制御」画面を表示するタイミングを変更します。
通常は、設定を変更する必要はありません。必要な場合にのみ、設定を変更してください。

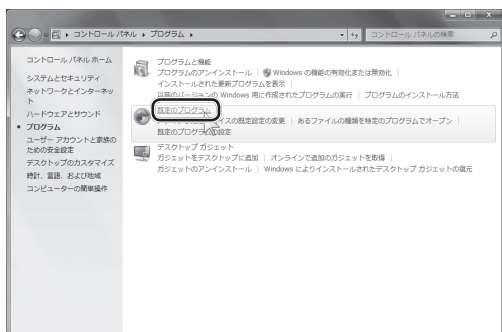
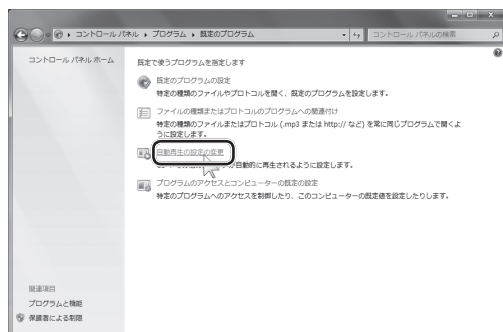
1 コントロールパネルの[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]をクリックする。

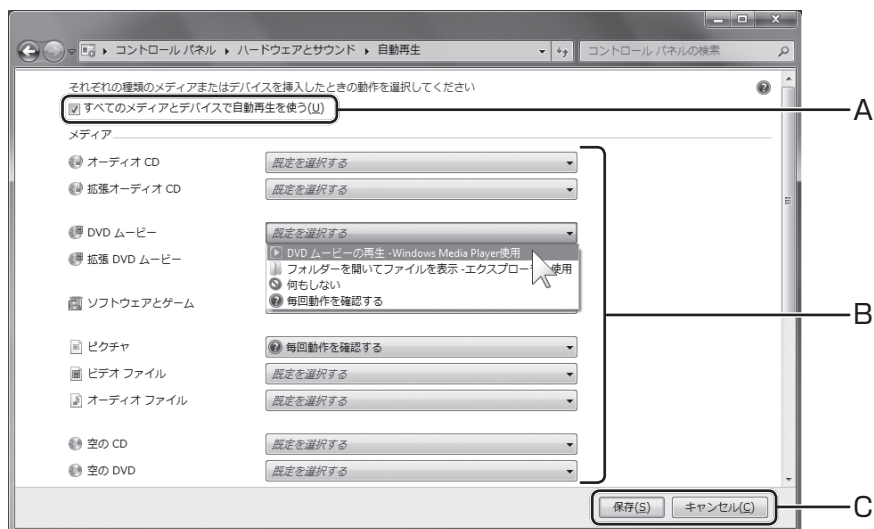
2 [ユーザーアカウント]をクリックする。

「ユーザーアカウントの変更」画面が表示されます。

3 [ユーザーアカウント制御設定の変更]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御の設定」画面が表示されます。

4 をスライドさせて、「ユーザーアカウント制御」画面を表示するタイミングを４段階から選択する。

ディスクやUSBメモリーを挿入したときの動作を設定する

CD/DVDドライブにディスクを挿入したり、USBポートにUSBメモリーを差し込んだりすると、記録されているデータに応じて自動的にアプリケーションソフトが起動したり、どのように動作するかを選択するメニューが表示されたりします。
ここでは、ディスクやUSBメモリーを挿入したときに、どのように動作するかの設定を変更します。

1 コントロールパネルの[プログラム]-[既定のプログラム]をクリックする。

2 [自動再生の設定の変更]をクリックする。

「自動再生」画面が表示されます。

ディスクやUSBメモリーを挿入したときの動作を設定する

A すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う
チェックボックスをクリックしてチェックマークを外すと、ディスクやUSBメモリーを挿入したときに、自動で読み込まれなくなります。

B 動作の選択
記録されているデータごとに、どのように動作するか選択します。

C 設定を終了する
[保存]をクリックして終了します。
変更しない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

Windows XPのアプリケーションソフトを使う

Windows XPで使用していたアプリケーションソフトをWindows 7で使用するには、アプリケーションソフトを「互換モード」に設定する方法があります。また、Windows 7 Professional搭載モデルをお使いの場合、Windows 7から起動させたWindows XPの中でアプリケーションソフトを使用する「Windows XP Mode」を使うことができます。
Windows 7 Professional搭載モデルをお使いの場合でも、まず互換モードでアプリケーションソフトが動作するか確認してください。

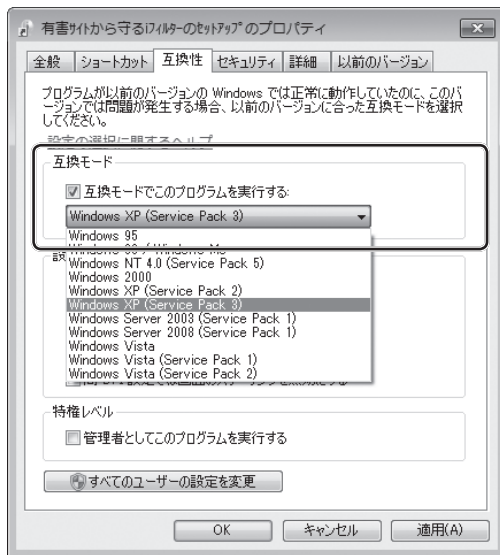
- アプリケーションソフトの動作環境やWindows 7への対応状況については、アプリケーションソフトのメーカーにお問い合わせください。

Windows 7 Professional搭載モデルをお使いの場合

- 互換モードを設定しても正常に動作しない場合は、Windows XP Modeをお試しください。
- Windows XP Modeは、Windows XPが持つすべての機能や性能を保証するものではありません。

互換モードを使う

1 実行したいアプリケーションソフト（拡張子が.exe）または、ショートカットを右クリックして、[プロパティ]をクリックする。

2 [互換性]をクリックし、[互換モードでこのプログラムを実行する]をクリックしてチェックマークを付け、互換モードをクリックする。

3 [OK]をクリックする。

4 アプリケーションソフトを起動する。

Windows XPのアプリケーションソフトを使う

Windows XP Modeを使う

Windows 7 Professional搭載モデルのみ可能です。
Windows 7 Home Premium搭載モデルでは、この機能を使うことはできません。

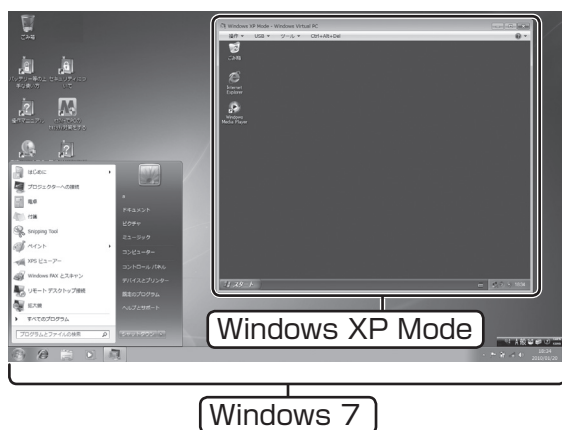
Windows XP Modeを使用するには、まずセットアップが必要です。

Windows XP Modeをセットアップする

1. すべてのアプリケーションソフトを終了する。
2. (スタート) -[すべてのプログラム]-[Windows Virtual PC]-[Windows XP Mode] をクリックする。
3. [ライセンス条項に同意する] にチェックマークを付け、[次へ] をクリックする。
4. [パスワード] と [パスワードの確認] 欄にパスワードを入力し、[次へ] をクリックする。
5. [自動更新をオンにして、コンピューターを保護する] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。
6. [セットアップの開始] をクリックする。
   表示されるメッセージに従ってセットアップを進めると、Windows XP Modeが自動的に起動します。

Windows XP Modeの起動

Windows XP Modeを終了した後、再度起動する場合は、次の手順に従ってください。

1. (スタート) -[すべてのプログラム]-[Windows Virtual PC]-[Windows XP Mode] をクリックする。
2. パスワードの入力画面が表示された場合は、パスワードを入力し、[OK] をクリックする。
3. 「Windowsへログオン」画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワード入力し [OK] をクリックする。

Windows XP Modeでの操作

■通常表示の場合

A 全画面表示
Windows XP Modeのウィンドウを全画面表示します。

B スリープ
Windows XP Modeをスリープ状態にします。

C 再起動
Windows XP Modeを再起動します。

D 閉じる
Windows XP Modeを終了します。

E [USB]メニュー
Windows XP Mode上でUSB機器を使用する場合に操作します。

F [ツール]メニュー
Windows XPとWindows 7間でのファイルのコピーや、デバイスを共有させる機能（統合機能）の有効、無効を切り替えます。

G [Ctrl+Alt+Del]
「Windowsのセキュリティ」画面が表示され、タスクマネージャの起動やシャットダウン、ログオフなどの操作を行うことができます。

■全画面表示の場合

全画面表示の場合、画面上部にツールバーが表示されます。

A の状態のときは常にツールバーが表示されます。の状態のときは、ポインターを画面上に移動させるとツールバーが表示されます。

B ウィンドウを最小化します。

C 通常表示に戻ります。

D Windows XP Modeを終了します。

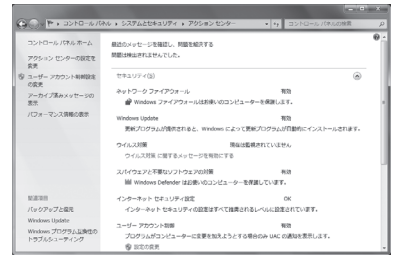
Windows XP ModeとWindows 7間でのファイルコピーの方法やWindows XP Modeを初期状態に戻す方法などについては、『操作マニュアル』「（アプリケーションソフト）」の「Windows XP Mode」をご覧ください。

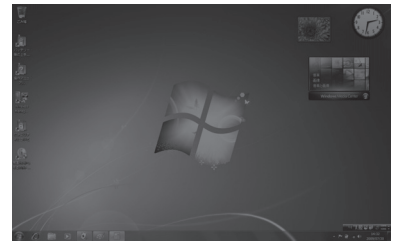
その他の便利な機能

音楽や映像を楽しむ「Windows Media Player」

Windows 7には、音楽CDや映像ファイルを再生する「Windows Media Player」が用意されています。
操作方法については、Windowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

パソコンのセキュリティを管理する「アクションセンター」

アクションセンターは、セキュリティやメンテナンスに関するWindowsが表示するポップアップやメッセージをまとめて管理します。
詳しくは、（スタート）-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]の[アクションセンター]をご覧ください。

モバイルパソコンのために強化された機能

パソコンをしばらく触らないとディスプレイを暗くするなどの省電力機能が追加されています。これによりバッテリーの駆動時間が長くなるなど、電源オプションが強化されています。

画面の表示モードを切り替える

外部ディスプレイと内部LCDの切り替えが簡単になりました。視覚的なメニューを選択するだけで、画面の表示モードを切り替えることができます。

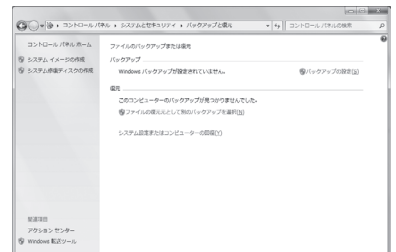
パソコンのデータを守る「バックアップと復元」

ハードディスク全体のバックアップや、ファイルの種類を指定したバックアップを自動的に行うことができます。
詳しくは、（スタート）-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]の[バックアップと復元]をご覧ください。

パソコンを使いやすくする

画面の一部を拡大したり、操作を音声で読み上げるなどの設定ができます。
詳しくは、（スタート）-[コントロールパネル]-[コンピューターの簡単操作]の[コンピューターの簡単操作センター]および[音声認識]をご覧ください。

モバイルパソコンの設定を便利にする「Windowsモビリティセンター」

スピーカーの音量や、電源管理など、モバイルパソコンでよく使う設定を1つの画面にまとめています。
詳しくは、（スタート）-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]の[Windows モビリティセンター]をご覧ください。

よく使うショートカット

よく使うショートカットキーやマウスのショートカットを紹介します。

一般的に使用するショートカット

文字列や項目を選択する	Shift + カーソルキー
ポインターの位置からブロックごとに文字列を選択する	文字列をダブルクリック
ポインターの位置にある段落を選択する	段落を３回クリック
ウィンドウ内に表示されている項目をすべて選択する	Ctrl + A
選択した文字列などをコピーする	Ctrl + C
選択した文字列などを切り取る（切り取り）	Ctrl + X
コピーしたり切り取ったりした文字列などを貼り付ける（貼り付け）	Ctrl + V
直前の操作を取り消す（元に戻す）	Ctrl + Z
直前の操作を繰り返す（繰り返し）	Ctrl + Y
ウィンドウに表示されている項目を検索する	Ctrl + F

便利なショートカット

「コンピューター」画面を表示する	⊞ + E
Windowsモビリティセンターを開く	⊞ + X
Windowsをロックする	⊞ + L
画面の表示モードを切り替える画面を表示する	⊞ + P
開いているウィンドウをすべて最小化する（最小化）	⊞ + M
作業中のウィンドウを最大化する	⊞ + ↑ または ウィンドウのタイトルバーをダブルクリック
作業中のウィンドウを元のサイズに戻す	⊞ + ↓ または ウィンドウのタイトルバーをダブルクリック
Windowsフリップ3Dを使用して、画面を切り替える	⊞ + Tab
Windowsフリップを使用して、画面を切り替える	Alt + Tab
ウィンドウを閉じる	Alt + F4

パナソニック株式会社　ITプロダクツビジネスユニット

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

SS0811-0
DFQX5776ZA

Printed in Japan